11 de Julho de 1919 No. 96

Noticias do Brazil

大正八年七月十一日　金曜日　第九十六號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 89
Caixa Postal H
Tele. Central, 2778
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ——— 10$000
„ Semestre ——— 5$500
„ Mez ——— 1$000
„ Semana ——— $800

新來の移植民諸氏に一言す

我國の諺に『見たと聞たと大違ひ』と云ふことがあるが、伯國へ新たに來られた移植民諸氏は、特に此の感を深くせらるゝであらうと思ふ、即ち臍の緒切つて以來始めて飛び出した外國、鵬程一萬二千浬と云ふ航海——板子一枚下が地獄と思惟せし大海原——も、實際六七千噸の快走船で渡つて見れば、馴れぬ初めこそ多少の苦痛はあれ、航海日數の重なるに伴れ、心氣爽快却つて氣宇の大なるを覺ゆるは、見たと聞いたと大違ひ、又南米と云へば唯だ一概に暑い國と思ひしに、實際來て見れば厚い外套の一枚も欲しき程の良氣候、之も見たと聞いたと大違ひのことであらう。

更に是より耕地若くは植民地に行くに於ては、其の風物一として異ならざるなく、殊に地形に於ては平坦かと思へば起伏あり、起伏あるかと見れば一望千里、恰も支那大陸の沿岸に似て土地極めて肥沃、而かも無限の財寶は此の眠れる土地に埋沒して、一刻も早く企業家の手を下すを俟つもの、如くにして、濡手に粟の握み取りの出來ざるは、是又見たと聞たと大違ひになるのではなからうか。

兎角我が國人は、鄉里に在る間は赤貧し甘んずるに反し、他所に出稼すれば一攫千金を望むの癖あるが、是は洵に間違つた考へである、無論最小の勤勞を以て最大の結果を得るは何人も望むことでもあり、又經濟學上の原則にも叶ふことでもあらうから、道理に叶つた遣方を以て、一歩一歩に發展し且つヨリ大なる効果を收むるは、吾人も固より同感なるも

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 89
Caixa Postal H
Tele. Central, 2778
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ——— 10$000
„ Semestre ——— 5$500
„ Mez ——— 1$000
„ Semana ——— $800

單に外國に出たと云ふ丈にて、未だ何等の經驗もなく、言語も通せず、仕事の工夫もつかざるに、忽ち誤れる習癖を發揮して、一攫萬金を叫ぶは是れ叫ぶ人の無理である。

右の證據として北米に於ける一例を擧れば、北米は世界最高の賃銀國なるを聞いて渡米せる我が同胞は、着米するや直ちに一日八圓乃至十圓の賃銀を得んと焦るも、高き賃銀は其の人の有する技術と經驗とに依つて取り得ると云ふに過ぎないので、誰も彼も一樣に高賃銀を取ることが不可能である、故に高賃銀を得んと欲するには、先づ之が資格として語學を覺ゆること、經驗を積むこと、土地の事情に馴るゝことは最も必要である、然るに誤れる習癖を有する我が同胞は、此の順序を踏むを面倒臭しとして、一足飛に高賃銀を得んと焦せるから、玆に躓が生じて排斥となり、遂に根も葉も枯して退却の憂目を見るのであるが、是も見たと聞いたと大違ひである。

要するに我が同胞は、外國へ出ると云ふ事其の事が何か非常な金儲でもあるかの如く思惟するも、事實は之に相違して、何うしても順序を追ふて努力勉勵せざれば成功すべきものではない、但だ日本と外國、殊に日本と伯國との異なる處は、日本は稼ぐに追ひ越す貧乏神と云ふに反し伯國は働けば必ず其處に利益が湧き富は働きに伴ふて殖えると云ふにあるのである、故に伯國に來る者は壯健にして働きさへすれば、最早や貧乏神に魅らるゝ憂ひがないと同時に、遣方一つでいと容易に成功の彼岸に達することが出來るのである。

而して其の遣方の最良方法としては、移民諸氏ならば二農年の契約期間を自己の準備時代と心得、一方契約の義務を果しつゝ他方農業上の經驗を積み、更に葡語を覺へ、伯國の風俗習慣を研究し、以て他日獨立の準備を凝さば、其の成功や案外に速かである、夫れ植民諸氏に至つては既に指導者あつて諸氏を導くが故に、諸氏は暫く日本の農業的舊智識を頭腦より取り去り、專心指導者の指圖と先輩者の實跡とに依つて奮鬪努力すれば足る、幸なる新來の移植民諸氏大に自重せよ。

故國の農民

みすゞ

一年の留守とは思はれぬ程伯國の同胞は著しく變つて居た。新渡航者數千の增加、特に驚くのは植民地の激增と其發展である。辛い苦しい珈琲園の生活の夜も明け貯へた其潛勢力が輝きに滿ちた伯國の森林に現はれたのだ。其訪りを母國の人々に分つ日も決して遠き將來ではあるまいと思ふ。

其れに引きかへ十年振りの日本は如何に余の眼に映じたか。煙突の數も素破らしく增えた。車輪の響も確かに忙がしい。然し乍ら國民一般の生活が舊に倍した悲慘な狀態にあるを見て余は寧ろ變化の恐しさを思つた。就中帝國人口の過半を占むる多數農民の如き殆んど退く處迄退いて全く行詰つた生活に苦しんで居る。曾て余は地方に於て嘉悅孝子女史の『國民教育』に關する講演を聞ける事あり。偶々『……米人は大戰參加以來一週一日の肉無しディを作つて迄正義人道の爲め戰つたに拘はらず我日本國民は……』との一言女史の口をつくや教員らしき聽衆の一人嘲つて曰く『吾が日本の農民は三百六十五日肉無ディを實行し、而かも此頃では米なしディ迄强いられつゝある、然り、今の日本は馬肉ではないかと』でさへ百日四十錢する。月給十五圓內外の小學校の教員が營養不良の子弟に體操を教へたとて決して一等國民は出來上がらぬ。かゝる生活難の根本原因は云ふ迄も無く帝國農民の過剩にある。大正六年七月農務局發行に係る農事統計を見るに全國農家一戸當り耕地面積は水田五反四畝、畑地五反三畝、合計約一町歩なり。伯國農民が廿五町を尙ほ狹ましとなすに比すれば霄壤の差である。而して土地所有面積により區別したる全國農家戸數は、

	戸數
所有面積	
五反未滿	二、三六七、〇八七
五反以上 一町以上	一、二〇七、四七三
三町以上 五町以上	八八二、七七五
十町以上 五十町以上	二五七、四九八
合計	一二〇、四五八
	四一、〇三〇
	三、三〇九
	四、八七九、六三二

即ち一町歩以下の小土地所有者は約七割、一町歩乃至三町歩の中土地所有者一割八歩、三町歩以上の地主は僅かに百分の八を算するのみ。此外に全く土地を有せざる數多き水呑連を合し全國純農家の合計は約五百四十五萬四千戸と稱されて居る。更に中農家の經濟に關し大正二年農商務省農務局の刊行せる自作農の收支概算を見るに、

所有田畑合計一町五反とし生産地の米價一石二十圓の場合

甲、收益計算收入の部

田畑收得	五二八圓
副業純益	七三
自家生産肥料	七四
雜收入	一六
合計	六九一

支出の部

地稅	一七圓
府縣稅	九
町村稅	一四
種苗費	一二
肥料費	一〇一
飼料費	四一
臨時雇費	一二
農具雜費	三六
合計	二四二
差引純收得	四四九

乙、家計費計算

收入の部	
純收得	四四九圓
支出の部	
食料費	二五三圓
服裝費	四六
薪炭油費	二二
交際費	二三
教育費	一八
雜費	七一
合計	四三三
差引殘金	一六

一年中一生懸命に働いて一家の儲け高十六圓とは如何にも日本人の汗はバラトであるが實際だから致し方ない。現時の米價は勿論高い。然かし諸物價もそれに順じて暴騰の爲め結局全國農家の七割を占むる一町歩以下の農民が其日の生活に忙殺されるのも當然の事である。胃袋の大きい子供二三人もあらうなら其れこそ大變なり。母國の農民は小料の米と味噌と大根を食し大いに働き二人前の糞を垂れる練習を强いられて居る。貧すれ鈍するで、やら、精神狀態迄營養不良に陷らば最早破滅である。それに比べると在伯同胞は確かに幸福である。數年の植民者を見よ、豚と鷄を鮒腹食ひ年收益二コント三コントの太平を謳つて居る。如何にして儲けんかの國を捨て如何にして生きんかの故國を慕ひ祖先の墓を守るのみが決して國を愛する所以ではない子孫の繁榮を世界に計るは全く吾等の爲すべき凡てであらねばならぬ仕事に慣れず事情に適せぬ新渡航者初年の生活は元より苦しいが實は此の辛難こそ他日の寶である。

サンパウロ、ゴヤス線

渡邊孝

カンプイ驛附近の新木珈琲を見て驚く小膽者にヂエンマ耕地の現況を見せたら大抵吃驚して死んで仕舞ふに相違ない

同地の現支配人は元リベロンプレト驛サンタクルス耕地に支配人をして居た半黑ペードロ君だ、僕程の馬乘りに馬に乘れるかなぞ失禮な事云ふばかりが、耕地を案內する態度が甚だ變だ、彼は五月蠅い新聞記者として僕を取扱つて居た事を後に知る事を得た、昨年一度彼とサンタクルスに出逢うた翌日、有名なバウアルトに行き同地の印象を時報紙上に遠慮なく發表した事を覺えて居て、新聞記者はやめても關係はあるだらう書くだらうなぞ疑深く尋ねて居た。

通譯山崎君と日本人のコロニヤへ行き群馬、新潟の諸君を集めたら、用もない黑奴共が集つて來て長々とペードロ支配人の惡口を叩いた上、『實際の事を申上げるなら、吾々はペードロ支配人のやり方に感心されませぬ』なぞ甚だ氣取つた口調で黑奴が半黑の攻擊を始めた、其夜は高橋君の厄介になり、翌朝午前三時半起床、鐵道線路を六基米突アルヴォラ驛に向つた、珈琲園の中だのになぜこんなに淋しいだうなぞ考へながら、驛から一基米突位の處で、四時半にオリンピヤを出た列車が火焰を上げて追つかけて來た、荷物が多いので中々走れない、走つて居る內に兩蛭の高い處に出た、うつかりして居たら汽車に轢かれそうに思はれて急いで蛭を攀ぢ上つたが、慌てゝ上ると又落ちる、カバンも寫眞機も外套も投げ捨てゝ漸く這ひ上つた時汽車が通り過ぎた、これが午前五時少し前の出來事だ、夜半に起きて二里近くも歩いた甲斐もなく見事に乘りおくれたにがつかり煮膽して仕舞ひ、傍の珈琲園に入り玉蜀黍殼を搔き集めて曉明に近い大空を仰いで大の字に仰臥して見たが、寒くて中々に眠れない、日の出を待つて驛に出で珈琲を飲み又もや畑の中へ這入つて午後の汽車迄報告を書いた

ドナ、ルイザ耕地では新日本人の爲めに板張りの上等な便所と風呂場とを造つて呉れて居た、夜遠藤通譯の案內で沖縄の人達と逢つたら、何とか云ふ大變な學者が居て世界の大勢を拜聽させられた、斯んな人達には珈琲園の話なぞ一向に興味がない

○東京電報（桑港近信）（六月二日電）

◆伊豆大島噴火

△三原山急に鳴動▽

伊豆大島の噴火山三原山は一日午後近來稀なる暴發を爲し其の降灰波浮港にまで及べり。

◆與倉陸軍士官學校長逝去

鹿兒島出身なる陸軍士官學校長中將與倉喜平氏は逝去せられたり。

◆山本農相勞働協會長

農商務大臣山本達雄氏は資本家と勞働者との融和を圖り勞働界の不安を一掃すべく自から進んで今回組織せられたる官民合同の勞働協會長となれり。

◆支那排日下火となる

北京よりの電報に依れば支那の山東半島問題に原因する排日運動は漸次下火となり北京を始め北淸の對日示威運動は全く中止され南淸の運動も漸次下火に傾けり

告示

歐洲戰亂中當國在留者ノ本邦送金困難ノ事情アリシ爲メ、便宜當館ニ於テ送金ノ依賴ニ應ジタル處今回『リオ』市ニ横濱正金銀行支店開設セラレタルニ付テハ、爾今本人ニ於テ直接同行ヲ經テ送金シ得ベキニヨリ當館送金取扱ハ去月三十日限リ之ヲ廢止セリ。

右告示ス

大正八年七月一日

在サンパウロ

帝國總領事館

送る心

輪湖生

鳥は林を願ふ、鳥にあらずんば其の心を知らず。魚は水に飽かず、魚にあらざれば其の心を解せず。師は將に海を越えんとす。誰か其の心を知る。

死を恐るゝ者死を得、生を捨つる者生を得。死と生を脱しなば則ち自然の心に歸らん。

爲すべき事の更に多きを欲するは血の人、爲せし事の少なしと顧るは涙の人。血と涙の人暫し雲水に心を養はんとや。

師に從へる人親善の糸を紡き、師を慕ふ幾多の人讃美の影に泣く。

師よ、若し星亂れて伯國の森を飛ぶと聞かば再び出でよかし。噫、棉の實彈せて畑白き秋師は遂に海を越えなんとす。

田舍を歩いて（七）

白水郎

時報記者足下　沖縄縣人が在留同胞の八分通りを占めて居るカンポグランデへ來た以上、勢ひ筆は同縣人の事に走る、沖縄縣人の事を思へば松村總領事が頭に浮んで來る、沖縄縣人に取つて松村氏は眞に救世主である、不良な移民として禁止された沖縄縣人が再び伯國に入るを得たのは松村氏の同情與つて力がある、沖縄縣人にして眞に恩を知るならば例へ他縣人が契約不履行をしても尚蹈み止まり以て松村氏に酬ゆべきである然るに何事ぞ、舊移民は新移民を誘拐してどし〳〵契約不履行者を續出し、松村氏をして沖縄縣人濟度難の聲を發せしめ遂に去る三月の沖縄契約移民及び呼寄移民の制限となつたのである、處が同縣人の一部は夫れでもまだ覺醒しないらしい、此カンポグランデに居る最も古い沖縄縣人が同地在留同縣人の約半數は姓名さへ知らない新移民で多くは契約不履行の者であると云つて居る。

今や松村總領事近く朝歸せらるゝ事となり、野田領事が總領事代理として聖市に赴任せられた、野田氏は嘗つて秘露に在勤せられ、南米移民に就いては廣く且つ深い知識を持つて居られる、秘露に於ても成績香ばしくなかつた沖縄移民は、伯國第一回移民として野田領事に手數を煩はした事がある、思ふに野田氏は決して斯かる移民を成績良好な者と同一視せられる事はなからう、松村氏は制限されたが野田氏は或は禁止を命ずるかも知れない、夫れは一つに懸つて今後の成績如何にある、幸ひカンポグランデには山城興昌、知念龜、安里德良等の諸氏あり、小異を捨て大同に就き、サンパウロ、サントスアンナヂヤスと力を合せ、在伯同縣人の發展に盡されむ事を望んで、我が旅行記の筆を擱く。（終）

警戒すべき思春期と更年期（上）

……婦人の心身革命期……

醫、文學博士　富士川游

思春期は女子の革命期

誰でも體質は、生れてから自然生活をして行く間に變つて來ます。殊に婦人は其變化が著しく、先づ高等女學校位の年頃になりますと、自分の頭の中にも、身體の發育の非常に速いことが判り兎角頭痛がして骨が痛んだり、眼に衝くやうな痛みを感じたり、顏の色を初め一體に皮膚の色が蒼く貧血に近い狀態になり、少し急いで歩くと、動悸がし、時々癈攣を起して胸が惡く、睡眠も亦不安になります。

これは病氣ではなく、此年頃に起る生理的の變化即ち身長と體重が非常に伸びるから起るので、それも漸々と發達して來るのならば、調節が取れますけれど、筋肉でも骨でも、急に引き伸ばされるやうな狀態になりますから、さういふ種々の病的の徵候を呈するのであります。醫學上では之を思春期の變化と申して居ります。無論人によつて此變化の强く來るのと、弱く來るのとの差別はありますが、何人も之を全然免れることは出來ませぬ。

妙齡の婦人の惱みの因

思春期の初め年齡で言へば、十二歳から十四歳頃の女子には心臟及び血管の障碍が甚しく、其の皮膚の色の蒼くなるのも、此爲であります。つまり骨や筋肉が急に發達すると同時に心臟も大きくなり、其割に血液が增して居りませぬから、それを全身に分配するには血液の不足を感ずるのは當然で、爲に心臟は過度の働をするのであります。故に年頃の女子には運動なども餘程注意してやらせないと、却つて健康を害することになります。試みに血壓を計つて見ますと、非常に高くなつて居るのが普通です。それで習慣的に頭痛がしたり、身體の方々が痛んだりするので、又神經系統の變化を受けて胃腸の障碍をも惹起し消化不良を來します。次に喉頭も大きくなり、扁桃線が肥大します。高等小學校や高等女學校時代の女子には少し注意して見れば、輕いと重いとの差はあれ大抵は、男子は百人でありますが、女子の死亡數は二百三十、又十五歳から二十歳までは三百人を出て居ます。それから後は男の方が多くなり、女の方が減つて來ます、兎に角思春期の女子は危險の瀨に立つて居るものと謂はねばなりませぬ。敎育其他に於て細心の注意を拂ふべきは無論であります。

時報詩壇

松村總領事を送る

翠子

花ほゝ笑みて鳥謠ひ
　世は常春の此の國に
日の御光に比ぶべき
　昔き愛の滴りに
移し植えてし撫子を
　育くみ給ひし其方は
慈母と慕へる弟妹を
　後に故國へ立たせらる
移る星霜早けれど
　思ひ廻せば五週年
風の旦や雨の夜も
　變らぬ心色に出で
照る日の夏は蔭を成し
　道行く人の標にて
根ざしも强き松が枝に
　別るゝ今日の胸の内
去り乍ら世は會者定離
　などか涙に咽ばむや
汐路の旅の安かれと
　籠る誠に送りつゝ
殘る同胞二萬人
　互に援けいそしみて
愈根ざし固めつゝ
　不朽の實をや結ばなん

隈侯の獅子吼

……世界の將來に就て……

頃日帝國軍人後援會總會閉會後會長大隈侯爵は別室に於て大要左の如き演說を試みたりと

世界の將來に就き吾人は二個の豫を爲すを得べし、即ち其一は國際の測法の廢止と其二は新國際法の出現と也、而して永久平和を保障すべき國際聯盟の組織を見る可し、斯くして吾人は永久の平和を期待し得るや否や、獨逸の軍國主義を打壞し得たるも之に代る某國の勢力澎湃として押寄せ來ることなきや否や、ウイルソン大統領は自由を提唱せるが之れに對して英國は苦情を持込みたり、是れ實に機微の消息を語るものにあらずや、況んや、巴里に於ける聯合國會議に於て列强利害の衝突に依り未だ對露方針の決定すら見る能はずと聞く此等の事情を審究するに實に寒心すべき者なくんばあらず、今日永久平和に就き保障の言說は多けれども太平洋上に於て列國の艦隊全部を燒却すれば即ち可也、然らずんば決して高枕安臥する能はず國際聯盟に依りて申合せたる法規條文か果して幾何の制裁ありや、吾人茲に疑問なき能はず、既に疑問ありとすれば、國家の自衛上、又は國家威力保持上武備は決して閑却する能はず云々

椰子之木蔭

米國の一女優ジャニスは出征米軍を歌舞を以て慰籍したるが爲め陸軍大尉に昇進し歸國後勳章を授與されたと云ふ女優の陸軍大尉は世界のレコード道にヤンキイは茶目な眞似をする▲そうかと思ふと北歐邊の日獨同盟說を眞に受けて神經を惱まして居る女優の陸軍大尉位で罷絡せられる大和魂は生憎持ち合せがない筈だ。

告示

爾今當館へ差出ス可キ諸願屆書等ハ在サンパウロ總領事代理領事　野田良治宛トスベシ

右告示ス

大正八年七月八日

在サンパウロ

帝國總領事館

其徵候が現はれて居ります。

危險の瀨に立つ思春期の女子

更に思春期に罹り易い病氣では、結核が一番で、統計を見ましても五歳までは男子も女子も同じやうに之に罹りますが、五歳から後は女子の方が多く罹ります。是は女子が肺結核に罹り易い體質をもつて居るからではなく、其證據には二十歳から後になれば女子の方がずつと減り、却つて男子の方が殖えます、唯十一二歳から十五六歳頃の身體の發育期、乃至は十五六歳から二十歳位までの所謂思春期時代に、身體の保護が惡いか、或は他に何か原因があれば著しく殖えるのであります。つまり此時代は體質の非常に變化する時代であります、少し障があると結核菌が容易に其威を逞しうし得るのであります。それで結核の爲の死亡數一千人につき、十歳から十五歳まで

ビリグイ便り

拜啓貴社益々御繁榮之段邦家の爲め慶賀此事に御座候陳者本會所屬アグワリンバ日本人小學校の儀日に月に盛大に赴き就學兒童は智育德育將た體育に於て一年前に比し著しき進歩を遂げ父兄は勿論會員一同大に滿足致しこれ偏に貴紙御指導の賜と深く感謝致し居り候却說當植民地視察に御出て下され候左の諸氏は學校維持費として頭書の金額御寄附被成下候に就ては本會は之を貴紙上に發表し以て感謝の意を表し度存念に候間何卒御掲載被下度伏して願上候

一金百ミル也　堀口公使閣下
一金貳拾ミル也　小林驥譯官殿
一金貳拾ミル也　吉村森三郎殿
一金貳拾ミル也　永田健次殿
一金拾ミル也　川村憲二殿
一金拾ミル也　坂元靖殿
一金拾ミル也　田中庄太郎殿
一金拾ミル也　野中兼次郎殿

大正八年六月廿八日

ビリグイ植民地內

アグワリンバ日本人會

土地賣却

豫期した如く Heitor Legrú 驛はノロエステ線に於ける同胞發展の中心となりつゝあるは私共の喜とする所であります。我れがちに押し寄せて來る殖民者の爲に今日のノロエステ沿線に殆んど私共の希望する條件に叶ふ土地を得ることが出來ませんのに、獨り吾がエートル、レグルー驛は極く最近迄土人が居住して居つた爲めに其發展を阻害せられ、天與の富源を有りの儘に殘して置かれたのは恰かも私共日東男子の爲めに神樣が供へてくれた樣なものであります。

今回賣り出す土地は「サンパウロ土地材木殖民會社」の所有地で當殖民地と隣接し地質は所謂、パウダリヨ地帶で、其肥沃なるは如何なる穀類の栽培にも適すことを保證致します。衞生の上から云ふても既に五家族の同胞殖民者があるが今日迄一人の病者無きに徵して明白であります、土地の支拂條件は他に比を見ざる程寬大にして殖民者の便宜を計つてゐます。希望者は百聞一見にしかずと申す通り此絕好の機會を逸することなく、當殖民地の實情調査の上御希望の土地を撰定せられんことを望みます。御照會は總て左記宛に願ひます。

イタコロミー殖民事務所

Escriptorio da Fazenda Itacolomy
Estação Heitor Legrú
Linha Noroeste

米作家族募集

歩合作カナアン及ポルト兩米作地

一、當米作地中土地の肥沃なる地區を適宜小作人家族に配分し機械の運轉可能の田地には耕主側にて耕し播種して後小作人に引き渡すものとす
一、耕主は小作人に食費を貸與す
一、籾種は初年度耕主より全部給與し次年度より小作人の要する半量を給與す
一、稻及籾の運般は耕主の負擔とす
一、耕主は小作人の稻を機械にて脫穀し小作人は之に對し一袋僅か五百『レイス』を耕主に支拂ふ
一、『サッコ』袋は耕主側の負擔とす
一、耕主は小作人に對して十分の余作地を與ふ
一、耕主は小作人に家屋を建て與ふ
一、耕主直營の米作地ありて小作人は日給仕事を受くる便あり
一、入耕期は本年十月下旬最も良し猶委細は左記に問合はせられ度く近き所に住む人は直接一度視察せらるるが宜しかるべし

主任　齋藤武雄

手紙の宛名　SAITO TAKEO
Fazenda Santa Eudoxia
Estação Alfredo Ellis
Linha Paulista

寫眞

見習入用

年齡廿才位まで熱心修得希望者照會は郵券封入左記宛

Praça da Republica, 83

石井寫眞館

朝日旅館

待遇親切、室內清潔、食費至廉

御出黑同胞の便を計る爲め當市の事情に委しき人を雇ひ入れ買物其他一般の御案內御手引申上候間御出黑の節は何卒御一泊の御希望に依り最新式流行形を調製可仕候尤も洋服部の設あり御引立の程奉冀候

猶當館にては廉價にて仕候に就き之れ亦御引立の程奉冀候

賣販次取油醬澤大

リベロン市ヂヨゼーポニフアシオ街四十三番

村上光雄

●日本近信

兩陛下東宮殿下の親監

遷都五十年祝賀の日

東京に滿つ二百万市民が歡喜の聲

東京市にては豫定の如く兩陛下東宮殿下の行幸啓を仰ぎ五月九日上野竹の臺にて奠都五十年祝賀式を擧行し市内各區歡喜の聲に醉つゝ尤も光輝ある一日を送りぬ

▼御幸の前

此日の御幸のお道筋は宮城より馬場先、内幸町、櫻田本郷町より芝口へ出で玉ひ珍らしくも銀座大通りを眞直ぐにお成道より上野公園へ入らせ玉ふなり馬場先口の飾り門は一夜の中に奉祝の文字を

▼祝賀の二字に變へて先づ此日の欣びを壽き御道々の飾付けは又目を新しくして朝夙ぎの吉日に榮えわたれり、されば鹵簿を拜しまつらんとする人々朝まだきより馬場先の廣場、上野山下の廣場など見る限り押しかへす姿に埋めつくして到るところ人ならぬはなし其數幾十萬と數を知らず而も一齊に菊花を胸にかけしは由々しとも由々しく、家として日章旗を掲げぬはなく車として彩條を飾らぬはなし

▼日比谷公園に尤も人目を引きしは此日の祝ひの爲めに態々信州より出京せる大名行列の人々にて槍を立て駕籠を据ゑて日比谷前に整列し銀座通にて目立ちたるは場所柄とて藝者達の姿多く見受けたると西洋人の顏多く見えしとなり泰明小學校の兒童千餘名は尾張町の路傍京橋以北の右側には越前堀、寶田、京橋、槇町等の各小學校日本橋際の兩側には城東日本橋女子

▼小學校兒童　達何れも莚を敷いて行儀よく居並びし樣いぢらし、日本橋より須田町までは殊に雜踏甚だしければ午前八時五十分全く交通を遮斷したり店頭を片付けて緋毛氈を敷き金屏風など圍たる家もあり路傍の人を掻分けながら炭俵莚などを群衆に賣り歩く人もあり押し返しつゝ騒を靜めて時の迫るを待たり

▼鹵簿通御

午前八時二十分、皇太子殿下には入江侍從長御陪乘申上げ濱尾太夫小川侍從武官長以下を從へさせ

▼高輪御殿を　御出門あり午前九時天皇陛下には正親町侍從長を、皇后陛下には千種權典侍御陪乘させたまひ、御同列にて二重橋を出御あらせたまふ、仰げば天皇旗燦として朝日に輝き俯せば儀仗兵蹄音曼々として響くほどに幾十萬の群衆寂として鳴を靜め偶々萬歳の聲隨處に起るのみ鹵簿萬世橋を渡らせ玉ひし時附近の群衆一度に雪崩を打つて

▼警衛の力も　及ばず騒ぎ立ち大塚署の巡査坂本啓藏（三）は鼻に龜戸町二八四二百村せき（三）は足に負傷するに及びお成道より上野廣小路へかけての大通にても多數の負傷者を出すに及びたり

▼奠都祝典

上野公園竹の臺なる祝典式場は檜皮葺の屋根中央に正殿を左右に廊を設けし紅白丸柱二十六本つきたる和風の御殿にて御大典の折の式場を思ひ起させる造りなり

▼錦襴の卓布　かけし御卓二基は兩陛下の玉座を示し其側に金紋丹塗の御椅子は東宮殿下の御座とぞ見奉る御欄間の鳳凰御几帳の雲形などいと神々しく丸柱に卷ける綠葉破風に彩られし旭章いと花々しき階段の大前側には越前堀、寶田、京橋、槇町等に一段の仕切りをして市會議員の席其後に來賓の席尙うしろには市公民の席を劃したり、公民の數は

▼凡そ六萬人　と聞こゆ埒の外まで犇々と寄せて波を打ち來賓の席には三千四百人の參列者等しく絹帽を戴き枝櫻の襟章をつけたる狀にて午前九時半頃は埒内に溢れたり正十時君が代の樂嚴かに聞こゆれば青葉の櫻に初夏の風渡りて儀仗の馬式場の正門に止まる市長田尻千爵加藤市會議長はお車寄せに市會議員は正門内に奉迎して便殿へ導きまゐらせたり

▼君が代の樂　再び近く近く嘹々と響き場内水を打つたる如く靜かに諸員悉く脫帽する時正殿の奥古代紫の帳を揭げさせたまひて天皇陛下のカーキー色の御軍服姿先づ向つて左手の卓に就かせたまひ續いて殆ど白に近き草色の御洋裝に白帽を戴きたまひ

▼美しき御裳　を引かせたまひて見えさせ聖上の御左の卓へ就かせたまひしは皇后陛下なりき、兩陛下の玉座定めさせたまふ頃東宮殿下には陸軍大尉の御服裝にて丹塗の御椅子に就かせたまふ、かねて洩れ承はりし如く御身長著しく高く御顏の凜々しさ御目の光の男々しさなど拜し上ぐるに付嬉しといふも畏れ多かるべし斯く打揃ひたまへる御姿を拜みまつる事はいと尠し

▼萬歳の聲々　は六萬人の一隅より湧きて一聲二聲三聲歡喜の心は止めあへずとぞ聞かれぬ場内靜まるを待ちて田尻市長は鶴の如き痩軀を進め鞠躬如として階段を上り段上に足を止め聖上陛下の御前を拜し奉りつゝ奠都五十年祝典の賀辭を聞こえ上げ奉る讀み終つて靜かに階を下る時迫に子爵の身に慄へをさへ見られしは左もあるべし、やがて階下に足を止め面を正しうして

▼高らかなる　聲にて聖上御萬歳を發聲すれば隆々たる其聲に和して場内六萬數千の口より一齊に呼ぶ萬歳の聲滿都に響き渡るべしとぞ思はれける式こゝに終つて君ケ代の曲重ねて奏せらるゝと共に輕くお會釋あらせられつゝ便殿に入御あらせられた

▼還御の轍　便殿に入らせたまひ御少憩の時市長は宮内大臣を經て献上の豫定なる加賀、土佐の二隻を加算品目錄を奉獻し市内各小學兒童の成績品を天覽に供へしに殊にこれには御熱心にお目を注がせられし末全部お取まとめて御持歸りの旨を仰せ出だされき斯くて還御の御觸れあり再び御鹵簿を揃へさせたまひ須田町より小川町に出でさせ大手町通を眞直ぐに兩陛下のお馬車は馬場先門より入らせたまひ東宮殿下には御馬車の上より兩陛下を御見送らせたまひ日比谷公園通を眞直ぐに高輪御殿へ還らせ玉ひぬ

●田中伯の辭職

▼宮内省より發表

五月一日辭表を提出して却下され五日更に再度辭表を提出せし昨年來社會の問題たりし田中光顯伯に對し昨日宮内省より左の如く發表ありたり

正二位　伯爵　田中　光顯

依願臨時帝室編修局總裁被免

●八八艦隊充實期

＝或は英國に注文を發せん＝

海軍々令部及び海軍省大臣官房に於ては目下八八艦隊充實のため九年度に於て建造すべき補充艦の按配に付き愼重考慮中なるが元來八八艦隊を充實せしむるには八年度に於て建造に着手すべき戰艦二隻（加賀、土佐）巡洋戰艦二隻（金剛、比叡）の代艦巡洋艦二隻（第四十議會要求の分）驅逐艦八隻、潛水艦七隻を加へて戰艦八隻、巡洋艦八隻の外補助艦たる巡洋艦十六隻、驅逐艦六十四隻、潛水艦若干隻、特務艦若干隻を要し當局の方針は以上の各艦を大正十二年度までに全部竣工せしめシカも

▲第一期艦齡　にあるものゝみを以て其精鋭を期するにあれども大正十二年度に於て現在の各艦中第一期艦齡にあるものは戰艦に於て山城伊勢、日向の三隻あり又大正四年竣工の扶桑は同十二年を以て恰も第二艦齡に入る譯なれども當局は暫く右四隻を第一期艦齡にあるものと同一に取扱ひ此四隻の外今秋竣工の長門、陸奥の二隻及び大正十一年竣工の豫定なる加賀、土佐の二隻を加算せば茲に八隻を取揃へ得る次第なり而て巡洋戰艦に於ては榛名、霧島、金剛、比叡等の二期艦齡にあるものゝ中近々一、二年を經過せしに過ぎざるものに對し暫く第一期艦齡の取扱をなすとしても八年度に於て建造着手の豫定たる八隻の外更に二隻を建造せざるべからず又巡洋艦以下の補助艦中にも第二期艦齡に入るもの少からざるを以て結局大正十二年度までに其豫定隻數を取揃へんとせば戰艦、巡洋艦共に建造中及び建造確定のものゝ外尙追加として巡洋戰艦二隻、大型巡洋艦一雙、輕巡洋艦三隻、中驅逐艦三雙を建造せざるべからざるがシカも此追加建造の大部分を十二年度迄に竣功せしめんには是非とも九年度中に建造に着手するの要あるも製艦能力の關係殊に船臺の不足および財政關係等より到底之等多數の艦艇を一時に建造し得ざる實情にあるを以て之が按配に就て當局は最も苦心しつゝあり或は

▲八八艦隊完成年度　を兩三年延長しては如何との意見あるも斯くては主力艦中山城、伊勢等の如き第二艦齡に落つるものあるのみならず補助艦の補充計畫にも亦狂ひを生ずる虞あり從つて完成年度延長論は未だ多く顧みるものなきも愈々豫算に計上したる曉財政當局査定の結果は一兩年の延長を餘儀なくさるゝに至るやも知れず尤も完成年度の延長に依り財政上の折合調ひたりとするも一方現在の如き貧弱なる製艦能力にては到底豫定通り竣功せしむるを得ず左りとて水陸設備の擴張及び充實は或る意味に於て軍艦製造よりも多額の經費と相當の年月とを要するを以て結局財政の點にして支障なくんば或は大艦の建造を英國に注文するに至るやも知れずと信ずべき理由あり即ちゼームス社、クライド、バンク社、クランプ社、ヴヰッカース社、アームストロング社等の各工場は戰亂終熄と共に漸く繁忙期を脫し工業能力に餘裕を生じ來れるものゝ如く平時の狀態に復歸して帝國軍艦建造の注文に應ずべき見込あるを以て海軍當局の一部に於ては熱心に之を希望し居れるものあり

弊店は新式流行形を最も廉價に調製可仕候間何卒御注文の程奉葵候

電話（セントラル『四五五九』）を御呼び出し被下度候

▲各種流行服
▲女羅紗服
▲其他御修理

材料精撰
直段勉强

田口洋服店

Rua Conde de Sarzedas, 73

植民募集

エスタソン　ポルト、ジョン、アルフレッド

西原植民地

（停車場より一キロメートル）

Estação Porto João Alfredo

L. Sorocabana

土地の年期貸與と家屋、食料、其他に關し各種の便宜を供し小資本を以て確實多量なる農産の持主たらしむるを方針とす

米、豆、カンナ、棉花、煙草等の收穫善美にして運輸交通の便宜と衛生佳良なる經驗を有す

明細書は御請求に應じ送呈す　猶ほ實地御視察を乞ふ

千九百十九年五月

●葡和辭書

在東京伯國公使館員　大武和三郎氏著

寸珍版美本　六百四十四頁

實價　七ミル五百レース

送料（郵便書留送付は五百レース　鐵道便送付は一ミルレース）

右伯語研究會の依托に據り實價を以て販賣す御入用の方は代金に郵税を添へ申込あれ、發送は着金順と定む

◎イグアベ植民地はイグアベ植民地本部
◎リベイロン附近はリベイロン時報支社

Caixa Postal, 290 Ribeirão Preto.

へ便宜申込ありたし

取次所

伯刺西爾時報社營業部

Notícias do Brazil
Caixa Postal, H
São Paulo

◆農界資料

チョコレートとココア（上）

◆何國に產するか

世界に於て可なり大なる需要があつて、其香氣や味が珈琲に優る共決して劣らぬ處のココア又はチョコレートといふものは熱帶地方に生ずる一種の樓木の果實で製するものであることは誰も知らるゝであらうが、今之につきて其採集や製造法等の梗概を紹介しようと思ふ。

そもチョコレートには一種の興奮性の成分を有し、そして之れが此飲料の主要成分であるのだ、これはテオブロミンと名づけらるゝアルカロイドの一種で、それが恰も珈琲に存するカフイーン、茶に存するテーン等と理學的性質を同くし、パラグエー產のマテ茶やコラ等とは近い關係を有するものである、尙ココア種實の分析表を見れば、

脂肪	五〇、〇
澱粉	一〇、〇〇
蛋白質	二〇、〇〇
水分	一二、〇〇
纖維素	二、〇〇
無機質	四、〇〇
テオブロミン	二、〇〇
色素	微量
計	一〇〇、〇〇

ココア（Cocoa）といふ名稱は、カカオ（Cacao）からの轉訛であつて、曾てはココアナット樹（Cocoanut tree）の果實がココアと思はれたのである然しそれは全然別種のものである、そして最初カカオ樹はカリビアン海沿岸地方の原產で全く此地方に限らるゝものとおもはれてゐつた、漸く栽培面積が擴大せられ、今は亞弗利加、錫蘭、ジャワ、印度よりヴエチズイラ、エコードル及び南米の諸國にも栽培せらるゝに至つた、けれど英領トリニダット島地方は主要なる名產地で、其他西印度のレーワード諸島、マーテニック、グアダローブ、ドミニカ、セントルシア、ジャマイカ等より多量に產する。野生のカカオ樹は著しき高さに生長したる樹を見るけれど、栽培するものは減多に二丈五尺を過ぎない、カカオの種子は莢の中に存し、莢は角立つた胡瓜に似た樣な形をして居る、莢の大きさは長さが八寸乃至一尺位、徑の長さ半分位である、其色は若い中は綠であるが、熟すると暗黃色より黃褐色となり、皮が厚く堅くなる種子は粘液を含める纖維の中に包まれ、一莢に巴旦呆位の大きさで二本乃至六十位ある、其色は新鮮のときに白味は不快な苦い味がする。種子の成熟する迄には、凡そ四ヶ月を要する、そして年中、果實が枝に成つては居るが、收穫は早春に限られる多少國によつて遲速はあるけれど。

收穫の時にはよく成熟した果實のみを注意して見分け、先きに小刀か又は二又の鋏樣の刃物をつけた長い竿を用ひて切りとる、夫より果實は一晝夜間堆積して置て鋭利な小刀で切開し、種子と共に汁をとり、それより醱酵さすための手續きをする、そこで是等の堆積物には木の葉をかけて置くが、又バナナの葉を布いた箱の類に入れて置くのもある。

醱酵には早い時は一日で十分であるが、遲い場合には十二日も要することがある、そして此時は極めて綿密な注意を施さねばならぬ、若しあまりに熱が高きに過ぐることがあると大に風味を減ずるものである。

武市見物（二）

鹿野久市郎

僕は今亞國の武市に居るのであると思ふと感いろいろに湧き出でる。アルゼンチンと云へば逃亡移民の行く處とのみ心得て居つた僕には一向西班牙語の用意などはない。葡語を丸出しにやつゝけて通せぬ事はないが其麼目も面もないことは恥しくてやりきれぬ。時と場所柄とによつて英佛伊をかわるがわる片言交りにしやべつて居る。嗚呼世界に國語と云ふ面倒がなくなつたらどれ位人類の幸福は增されるだらふ。國際聯盟の言葉などあつて然るべきである。

百姓國の伯國でも最醜を以て唄はれたる僕が南米の巴里に入込んだことだから特に目を惹く。フロリダの店硝子に寫つた僕の色の變つて了つた洋服姿を見て我ながらに可笑しいこと夥多しい。ヤッラ亞は南米製でも着物だけは倫敦巴里の流行を追廻る。羊質にして虎服したつて駄目だよ。驚いた大阪商船に小使あり。身體倭小なるを以てチコと云ふ。チコ君尙且指輪をはめてるわい。噴飯噴飯。

モンテビデオは全市を擧げて遊園地のことだからそりや別嬪も多かつた。當市には美人と云ふよりもおしやれが多い。僕が眼鏡を掛けて近寄つて見ればザラザラした皺澤山の婆樣ばかりであるが先づ厚化粧し蜘蛛の巢かついて容易に男子の伺ひ知ること能はざる構造になつてる。武市よりも前腕まる出しで珈琲ちぎる伊太利亞人に美人は多い。

女はこの寒空にでも薄つぺらなものをひらひらと身體に一枚つけてるだけの樣だが男はそりや又目方の隨分かゝり相なもの着てる。元來着物なるものは寒國に發達したものである。希臘では裸體を愛し羅馬では寬ば濶なトオガを用ひた。暑い伯國が着物にあまり頓着しないのも理由はある。温かな家庭に人となつた僕が衣服に存外注意しないのも亦之に準ずべし。

男でも女でも眼鏡をかけた者が武市には多い。眼鏡をかけてベエルをかぶつた夫人なぞさぞかしクシャクシャうるさいことでしように。

モンテビデオ以來ベルケリヤと名乘る店の多いことに少からず驚かされた。一軒又二軒念の爲め三軒ものぞいてみてそれが理髮屋であることを字引ひかずに覺えた。ベルリと毛をケリにしてしまうからとは云へベルケリヤは他國語が皆バルバに緣を持つてる中に奇拔な言葉である。こんなのは決して忘れつこないが語尾の少々もぢれたなどは中々に覺え惡い。レイラがレエチエ、レイトがレエチヨ、エストレイトがエストレチヨ、ヂレイトがデレエチヨ、それから何でも少しやゝこしいのはジエの字のハヒフヘホにしてしまふ。トラバホ勞働。ルッホ贅澤。ヘッヘ首領。ハポン日本。ファン人名。ホセ人名に至る。アルマセン八百屋のルはエルでセはシイの字である。ムジカ音こと能はざる構造になつてる。武市よりヤ（牛乳屋）を見付けて大に高尙ぶつてやつてると追々はいつてくるものは車力人足ばかり。亞國は農牧國である。パンは美味で牛乳は廉價です。

自然と人

西ノ村生

十六夜の月は森の上に現れた、私は足の運ぶが儘に流れ緩かなるリベイラ河の邊りをさまようた、懷もひ出せば二年前、漸く暑さの加はらんとする十月初旬、私は此所へ來たのである。其時分の當地は今に較ぶれば微々たるものであつた。道路は僅か中央道路と稱する十七キロ米突がある斗り、植民の數も百に滿たぬと云ふことであつた。それが今は五百になんなんとして、道路の延長百キロ米突を越して居る。ペンソンも出來た。店も繁昌して居るらしい。馬車の數も、馬の數も增して來た。何人のロッテも道端の森林を大抵伐採されて、甘蔗、米、玉蜀黍なぞの畑と化してしまつた、隨分變つたものである。あの時分の私と今の私、肉體になんの變りもないけれ共、自然は二つと云ふ年を私にくれた。

其當時の私の心、別段悲しみもしらず、喜びもなく、ましてや人間の最後の目的が那邊にあるかわからない。唯人に惡く思はれず、よくいはれよう、眞面目に働いて、金さへ貯めれば老後も安心立命だと思つて居た。それは去年このかた覺めかけたと云ふのであるが、ものにあひ、事に當りて、少しづゝ人間と云ふものゝ價値がわかつて來た。自然は私の心を覺ませる毎に、肉體の私を大なる眠りに導いて行く。

自然の力、それは私の力でありたい。私は自然と共に歩みたい。世の中を廣く觀すれば、苦しみも悲しみも努力向上の影である。されば苦しみある毎に悲しみの增す毎に、人としての使命を果しつゝあるを思ふ時苦痛は歡樂とならねはならぬ。私はかく思ひながら月を仰いだ。

月は煌々として山も、川も、野も森も、清き光に包まれし、月の世界と化して居る。私は此清き光をあびて己れの心を顧みた時、其奥底に溶け難ひ黑き一塊のある事を意識した私の心は透明でない、清くない。

自然を口にし、自然を欲する私は未だ不自然な者である。此黑き一塊を除かんとして能はず。私は己の欲するまへに、己の心のまゝならぬを悲しんだ。已の心の不自然なるをなげいた。

自然それは私の最後の目的である其處に私は光明を見た。道は遠い然し時は私を導くだらう。私は斯う思ひながら靜かなる森の方へと歩を進めた、月は愈々さへて行く道を照して居る。

時報歌壇

夜

リオ市　奇山

うつろなる心を抱きあてもなく
家を出づれば空に月あり
ほしいまゝに物思へとや公園の
電氣くもらし霧の降り來る
みぢめなる喪家の犬の如くにも
町をさまよひ行きところなし

サントス行　東扁木

窓を開き空を覗けば星もなしためらつゝも服を着かへぬ
曉の霧にぬれつゝ石だゝみ蹈みならしならし停車場へ向ふ
黑雲はアルトダセーラに雨となりて我が一行の顏も曇りぬ
山なかば汽車の下れば青き空見えそめたりと聲かまびすし
危みし空は晴れたり心ゆくばかり濱風吸ひて歸らむ
スクルーの作る渦卷靜かなる港の水をかき亂し行く

原籍　福岡縣三井郡本郷村字本郷
在留地　クラビーニョス驛ダス、フローレス耕地

尋人　平田與平　四十歲

右之者發狂の氣味にて一昨日家出致し候につき現住所御存知の方は乍御手數御一報願度候

大正八年六月二十二日
伯刺西爾移民組合支部
リベロンフレト出張所
Caixa Postal, 290
Ribeirão Preto

日本人入用

ラッバ近傍に於てバタ、耕作の爲め左記の條件にて日本人勞働者を求む

一、平坦なる水利の便好き土地約三アルケール
一、住家物置農具一切（以上無代貸與す）
一、肥料薪材は無代給與す
一、生活費を貸與す
一、收穫半分

御希望の方は左記へ御申込あれ

A. Sanchez & Comp.
Rua Libero Badaró 128
São Paulo

日本旅館

親切丁寧に御取扱可申候

雜穀買入

日本人諸君の御便宜を計る爲めに正直を旨とし雜穀一切の賣買に從事致候間多少に不拘御用命被仰付度願上候

バウルー市バラスタ、デ、カルヴァーリョ街八番
澤尾礒七
Caixa Postal, 63 Bauru

尋人

福岡縣柏屋郡志賀島村　堺茂

右の者へ國許より重要なる書類到着、至急現住所知度し、御存知の方は左記へ御一報を乞ふ。

堺勝三郎
a/c Sr. Lucidio Mello
Est. Sabaúna L, Central

旅館開業

清潔で、安くて、日本人旅館中最も停車場に近い

ソロカバナ驛前
城間眞次郎
Rua Manuá, 199
S. Paulo

◆新荷到着

命の母、實母散、中將湯、清血湯、豐血湯、さふらん湯、人蔘湯、疝積湯、以上血の道一切ふり出し藥一服一ミル二百五服送料六百レース、子宮差入藥、壹箱參ミル、月さらゑ、新月丸、毎月丸、一週分六ミル、清心丸、仁丹、ゼム、清快丸、以上一袋一ミル、寶丹、萬金丹、大鐘二ミル千金丹八枚入三ミル九百、清神丸一角丸、奇應丸、救命丸、以上小兒虫一切及び熱さまし一ミル二百、五龍圓大鐘三ミル、セメンエン、セメンエン菓子、以上虫下し一袋一ミル二百、ジケスチン、タカジアスターゼ一個三ミル五百、太田胃散大二ミル四百小一ミル二百、ビットル散一ミル八百、腸胃散一ミル二百、コロダエン、熊の膽丸、腸痛止め一個貳ミル四百、アンチヘブリン散、百中散、キナピリン、以上熱サマシ一袋一ミル二百、大學目藥、同春目藥、トラホーム水一ビン一ミル二百、淺田飴大鐘三ミル六百、玉霜散、イセリン、タムシン皮膚病藥、ホーサン軟膏指藥大貝一ミル二百、貴眞膏、萬金膏藥一個四百レース、ヤケド藥一ミル五百、毛生液、ケハエ藥大ビン四ミル四百、アンチヘブリン散、百中散、下痢止め一ミル二百、毒掃丸、梅毒、胎毒下し大袋四ミル、水銀軟膏一ミル二百、痔妙丸、痔退丸、ジノ藥一ミル二百、次亞燐大ビン五ミル、克快丸、變質丸、以上リウマチス藥五日分三ミル、脚氣專門藥二ミル五百、虫齒口中のタバレ藥一ミルリン病藥、各種薄荷油、一ビン三ミル五百、耳鼻藥一ミル二百、モグサセンブリ、センブリノ粉一袋一ミルサフラン其他各種類十ミルの御注文に對し送料一ミルレース宛　御一報次第目錄送呈

◆大根之部

平莖豐玉大根〇改良丸尻宮重〇改良宮重長大〇練馬丸尻大根〇同大長大根〇練馬秋マッリ大根〇黃二十日大根〇守口大根〇方領大根〇晩生櫻島大根〇以上一合二ミル五百宛

各地に取次所募集す

◆御注文は總て前金に限るブラジル時報市內申込所

聖市コンデ、サルゼーダス街五一番
木藤商會
大澤醬油取次所 KIDO SHOKAI
Caixa Postal 1466
R. C.Sarzedas 51
S. Paulo

◎各國電報

◆ウ井ルソン氏着華　大統領ウ井ルソン氏は多數の官民に迎へられ昨夜半當府へ到着せられ停車場より直ちに白亞館へ入れり（九日華盛頓發電）

◆前獨帝の裁判　ベルリヂル、タゲス、ツアイツング紙はフリードリヒウ井ルヘルム親王の書簡を發表せるが親王は其中に記して曰く吾等兄弟は父帝に代りて聯合國に引渡され其裁判を受けむ然らずんば父帝に課せらるゝ刑罰に共に就かむと決心せりと、又親王はアイテル、フリードリヒ親王に電報を發し聯合國は父帝の引渡しを和蘭に强要せるに依り自身父帝に代らむ事を申込まんと云へり（九日伯林發電）

◆ハインリヒ親王の電請　ハインリヒ親王は英皇ヂョーヂ五世に打電し獨帝引渡しの執拗なる要求を正義のために棄てられん事を請へり、尙ほ親王は獨帝が戰爭を回避せんと努力せし事實を了解せられむ事を陳述し之に關して千九百十四年七月十四日の英獨兩帝の會談を引用せり（九日伯林發電）

◆英佛米盟約に對する伊太利の態度　伊太利通報事務局の發表する所に依れば、獨逸が佛國を攻擊する際に佛國を擁護する爲に今回締結せられたる英佛米盟約に伊太利の加入若し承諾せられざれば伊太利は餘儀なく獨逸、露西亞及び日本と聯盟せんと、尙伊太利政府の見解に依れば同國が經濟的並に政治的に孤立せしめられむ事は瞭然たるものなりと（九日紐育發電）

●講和條約調印に抗議　上院議員ボラー氏は北米講和使節中特にブリス陸軍大將、ランシング國務卿及びホワイト氏等に依つて差出されたる抗議書を上院に提示せられむ事及び山東省問題に就き强迫的意義を有する日本の企畫に關する覺書をも亦同時に提示されむ事を大統領ウ井ルソン氏に要請せり（十日華盛頓發電）

◎雜報

●在リオ領事館開館　曩に報道せるが如く本年度新たに設置されたる在リオ帝國領事館は諸般の準備全く整ひ愈々本月一日より開館岩手嘉雄氏領事として事務を執らるゝ由なればリオ市並にリオ州以北諸州在留邦人は此の際改めて在留屆を同領事館へ屆け出づる必要ありと但しミナス、ゴヤス、マトグロソ、サンパウロ及び南部諸州は依然在サンパウロ總領事館の管轄なれば別に在リオ領事館へ屆け出づるに及ばずと知るべし

◆在リオ領事館の宿所左の通り
Consulado do Japão
Caixa Postal, 30
Rio de Janeiro

松村總領事夫妻の

●出發は延期か　アンツーチス代理店の發表する所に依れば來る十四日サントスへ入港の鎌倉丸は荷物の都合上リオを經でブエノスアイレスに行き來月五日頃再びサントスに立戻り乘客搭載の由なれば松村總領事夫妻も一旦聖市を辭したる後山紫水明の地を選びて靜養し鎌倉丸のサントス再入港期を待ち受け乘船せらるゝ都合に至るべしと

●野田領事着任　公使館書記官兼領事野田良治氏は當分の間松村總領事の後任として在サンパウロ總領事館へ來任せらるゝことは既報の如くなるが氏は愈々去る八日着聖松村總領事を首め多數の同胞に迎へられホテル、ロチツセリに投宿昨日を以て事務引繼を終り正式に就任せられたり

●鎌倉丸は十三日？　一昨日鎌倉丸より移民組合宛の無線電信に據れば來る十三日イリヤ、グランデの檢疫所に立寄り十四日早朝サントスへ入港豫定の處堀口公使の盡力に依り傳染病有る場合の外從前通りサントス直航となれるを以て或は十三日入港となるやも知れず兎に角今回は是れまでより約一週間早くサントスへ入港する譯なるが伯剌西爾移民組合及び船會社は如何に移殖民の健康に深甚の注意を拂ひ居るか今回の鎌倉丸の輸送日數の短縮に依つて其れを更に證據立てたるは喜ばし、尙ほ聞く所に依れば鎌倉丸はサントスにて移殖民を上陸せしめ且つ荷役濟み次第リオへ廻港更にブエノスに行き來月初旬再びサントスへ立戻り船客乘船の上日本へ向ふ由

●堀口公使の寄附　過般聖州政府を公式に訪問せられたる傍ら在留同胞の現狀を視察されたる堀口公使は去る四日當地出發翌五日朝無事歸館せられたる由なるが公使は來聖の砌り日本倶樂部の設立を有要と認め今回野田領事を通ふじて伯貨一百ミルレースを同倶樂部に寄附せられたり

●三隅副領事リオ行き　病氣保養旁々イグアペ植民地に赴かれたる三隅副領事は元氣恢復昨日白鳥氏と共に歸聖せられたるが愈々明晩の列車にて在リオ公使館へ向け出發せらるゝ由

●昨夜の盛宴　松村總領事を送り、後任總領事代理野田氏を迎ふ

昨十日夜聖市日本倶樂部に於て近々鎌倉丸にて歸朝の途に着かるべき松村總領事及び過日在伯帝國公使館より着聖せられたる後任野田總領事代理の送迎會あり、會衆六十餘名、顏振れはイグアペ、リベロン地方、ノロエステ方面等より千里の途も遠しとせず馳せ參せし者多く如何に松村氏在勤六年の功績を謝し後任野田氏に期待する所多きかを思はせたり。

一同座につくや先づ發起者なる本社々長黑石氏の送迎の辭あり、兩氏の爲めに會衆一同乾杯を終るや、松村總領事起つて『殆んど全部舊知の諸君に對して眞面目くさつた挨拶も出來ません』と冒頭し、混沌亂脈の過去と夜もほの〴〵と明けはなれし今日とを思ひ比て言葉少なに其感概無量を語り『これ皆諸子の復活と努力に依る』と語を結べるは平民主義の松村氏に應はしき遜辭なりき。次で野田氏緣は異なものなりとて舊知の聖市に舊知の松村氏の後を繼げるを喜び微力乍らも飽く迄諸氏と共に同胞發展の爲め誠意の道を開かん旨を誓はれたり、三氏の挨拶に約一時間も費されたるが感心に喉から手の出る幾多の御馳走に垂涎の人を見受けず、それより一同酒宴に移り杯を盡しスシを食ひ大聲を發し一座さながら梁山伯の夜深き趣きを呈したり。散會十一時、因みに松村氏歸朝の爲め日本倶樂部々長を辭されたるに付き野田氏同氏に代り推擧され又松村氏は名譽部長を快諾されたり

●禁酒法案の宣傳　有名なる北米禁酒法案の提議者で其プロパガンダ（宣傳）の爲めに日もこれ足らざる程の熱心家でやがては全世界を擧げて禁酒せしめ樣との意氣込みすさまじい北米下院議員チャールス、ランダル氏は、未曾有の戰亂も目出度收まつたので今や其理想實現に着手すべく其手始めとして先づ御隣りの南米諸國をして酒類の釀造販賣禁止法案を採用せしめ樣と目下其旅裝に忙殺されて居るそうである氏は曰く『此法律は今に全世界の文明國民に採用される事は些も疑のない處である、夫れは經濟上の必要からそうならなくてはならぬ、蘇格蘭は多分來年から採用するだらう、英本國、濠洲及びニュージーランドでは其採用のために猛烈な運動が開始された、亞細亞では日本が之を採用する第一番の國だらう云々』

これは六日附北米首都ワシントンからの電報である

●熊谷選手大敗　◆北米東部庭球大會にて◆日本人庭球界の驍將熊谷市彌氏は北米はウイスチスター、ノルウッド、カンツリー倶樂部に於て催されたる庭球仕合大會に臨みフイラデルフイヤのテルダン氏と競技の結果六對三六對四のスコアーにて脆くも敗を取りたるが引き續き名選手ライト氏との競技にも六對三、六對三の成績にて敗れたりと北米近信に見へたり

帝國總領事館の

●送金取扱廢止　本紙一面の『告示』通り本月一日よりリオ市に横濱正金銀行支店開設預送金者に便利を計ることゝなりたる爲め總領事館にては七月一日限り送金取扱を廢止せられたれば送金者は今後必ず横濱正金銀行リオ支店に依賴すべし同行住所は本紙の廣告通りなり

ノロエステ近況

◆ピリグイ植民地、馬上行けども行けども畑は盡きず、流石は同線第一の植民地なり、家屋も漸く整ひ見るからに心地よし、旱魃の爲め本年の米作は多大の損失を招けるも尙ほ棉あり、マモナあり、山根氏のカンナ園三十アルケールも既に色づき初め近々運轉開始の筈なる同氏製糖工場は當植民地第一の見物なり、山根氏を頭に戴ける二十餘家族の植民が萬難を排して共同の實を擧げつゝある事は日本人種に珍らしき事なり、切に大成を望む、アグアリンバに青年會あり、相親しみ相扶けて行くべき道を忘れず、孰れも好箇の青年、誰れかお嫁さんを世話する人なきや、校長兼小使の原氏三十近き邦人子弟を訓育して倦まず、未來の英傑は必ずや森林より出でん、該植民地開設當時より同胞の爲め多大の力を致されたる宮崎八郎氏も又頗る健在、然かし同氏經營の米作不況にはチト閉口の態なり。

◆アルブケルケ、リンスの同胞　同地方にある珈琲園及び植民地を合すれば約四百家族の多數に達す、本年作はノロエステ沿線中最も好況を呈せる由にて同驛は荷車不足の爲め殆んど穀類に埋もる、當地にある山口三之助及び佐藤次郎の兩氏棉や、マモナの買込みに忙がし、去月廿九日夜同驛附近にて血氣の獨身者五人共同の許に農業を營み居りし其一人新潟縣人三浦四郎氏誤つて一西班牙人の爲に銃殺さる、誠に氣の毒の至り

◆平野植民地　先月中旬の雨にて大分豆を腐らせし模樣なるがマモナ棉、米は寧う豊作、七十余家族の面々就れもホク〳〵者なり、當植民地には流石に第一回、二回の渡航者多き丈け一般氣分は十星霜の辛苦を語る。

◆上塚植民地　同線中最も新らしく而かも最も活氣と盛況を極めつゝあるは當植民地なり、一つに上塚周平氏の德に因るものならん、而かも同氏の舊友菊地法學士あり、上塚氏の德と多趣多藝にして温良の君子菊地氏とに依つて未來を期する同植民地は或は同地方第一位の理想鄕たらんか。

●人事來往　前田利紹氏リオクラロ市にエドワルド、ナヴアロ博士訪問のため五日朝聖市を去る◆瀧澤二三郎氏六日夜ノロエステより出聖◆ノロエステ出張中の輪湖俊午郎氏六日夜歸聖◆セントラル線旅行中の三浦鑿氏は七日歸聖◆笹原憲次氏商用にて地方旅行中の處八日歸聖◆アニウマス農場出張中の高岡專太郎氏は九日夜歸聖◆リベロンプレトより多羅間鐵輔氏及坂元靖氏十日出聖◆福川薩然氏、渡邊孝氏地方出張中の處十日歸聖◆菊地惠次郎氏ノロエステより十日出聖◆イグワペ白鳥堯助氏は十日出聖◆牛澤虎尾氏モジアナより十日出聖◆グアタバラ耕地の山中信一氏十日出聖◆日貿の岩淵彪夫氏商用にて十日リオへ出張

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavapes No. 236

The Yokohama Specie Bank Lt'd.
Caixa Postal, 380 Rua da Candelaria, 23
Rio de Janeiro

預金（日本貨定期預金利息六ケ月以上年五分五厘／伯貨定期預金利息六ケ月以上年五分／伯貨當座預金（小口）利息壹ケ年以上年五分五厘）
資本金壹億圓
横濱正金銀行
リオ、デ、ジヤ子イロ支店

郷里送金　は無手數料にて迅速且つ有利に取扱致候
爲替相場は目下日本金壹圓につき貳ミルレース
預金及送金申込書用紙は御申越有之次第直に御送附可申上候
其他御不審の點は御遠慮なく御照會被下度早速御返事可申候

旅館並に
醤油、賣藥取次
柿内直吉
(Caixa Postal, 77)
Estação Catanduva
Linha Norte de S. Paulo

精米廣告
日本人諸君の爲めに特別勉强して精白します
又御便利を圖る爲め米穀の依託販賣をも致します
バウルー市
バウリスタ驛前
デシヤウエル
精米所
Eduardo Deschauer
Frente de Estação Paulista
Baurú

新潟縣人三浦四郎氏儀六月廿九日午前二時不慮の災禍にて死去同日午後五時アルブケルケ、リンス共同墓地に埋葬仕候依而生前辱知諸君に御通知申上候

埋葬の際遠路御會葬被下候諸彦に對し乍略儀以紙上御禮申上候

施主　桝田三郎衛　長谷川章　藤原平助　松浦熊槌　水野貞一

友人　瀧澤仁三郎　笹原憲次　大石智覺　佐藤次郎　高橋善之助　森部市造　榛葉彌七　高倉源次　白石次男　中熊數夫　根本元次

11 de Julho de 1919 No. 96

Noticias do Brazil

大正八年七月十一日　金曜日　第九十六號

長篇講談

桑平内

第四十席　平内松平家の荒馬を乘馴らす事

平『これは麗しき尊顏を拜し恐悅を申上げます、唯今はお召しに相成り……』大『オ、平内か、大儀に存ずるぞ』其時に平内が　平『エ、御前、何事か起りましてございまするか、唯今私參邸の際恐ろしく御門内がざわついて居りましたが……』大『オ、餘の儀ではない、厩に繫いであつた馬が紐を切つて暴れ出しての……』

平『ヘ、エ、御馬が暴れてそれ故のた騷ぎでございまするか、是は以ての外のこと、人間が馬のために那のやうに騷ぐと云ふは其意を得ませんアハ、、、、』と傍若無人にカラカラと笑つた、殿様は一寸顏の色を變へられ　大『平内、其方の馬術に達して居るといふ噂は未だ聞かぬが、笑ふ處を見ると馬術の方にも堪能と見えるな』平『イエもう馬術は未だ稽古いたしたことはございませんが、然し馬術などは學ばなくとも出來ますが、高が相手は畜生ではございませんか』大『これはまア亂暴な一言、人の心を解さぬ畜生だから乘り難いのだ、武藝十八般の内にも加へてある位、左様に申すからは如何なる荒馬でも乘鎭める事が出來、また放れた馬を取押へることが出來ると見えるな何うぢや』平『ハイ』大『取押へる方は誰か致すであらうから、予の飼置ける南部駒の獅子王と稱くる逸物、隨分癖の強い馬で實は予の家中で誰も乘りこなす者がないのだ、其方此の馬に乘つて見せて呉れぬか、總じて荒馬と云ふものは、必ず駿足のもので之を乘り馴らしさへすれば千里の名馬となる道理である、それ故何うかして乘馴らしたいと心得、時々曳出すと暴れて困る、係の者に申付けて色々工夫をさせて居るのだが』

平『ヘエー左様でございますか、シテ其係りと云ふは何んと申すお方で……』大『船山幸右衛門と云ふ馬術指南番ぢや』平『ヘ、エ、左様でございますか、シテ其船山様と仰しやる方は馬術は餘程お出來なさる……』

大『コレ／＼心付けて口を利け、心得ある所ではない、先づ天下で屈指の達人、自慢を申すではないが他藩には又とはあるまい、其位の人物ですら獅子王ばかりは持て餘して居るのだ』平『左様でございますか、手前の考へまする所では、抑も萬物の靈長たる人間が畜生を取扱ふことが出來ぬと云ふ法はないかと存じます、殊に武術の本意は唯一心にあり、此の一心さへ堅固ならば萬事に通ずるものでござる、刀や槍を動かすばかりが武術ではござりませぬ、斯様に申上げますと又平内の廣言かと思召すかは存じませぬが、御前は未だ御修行が足りませぬ、それ故御會得が參らぬかと存じます、論は無益、疊の上の水練では役に立ちませぬ、兎も角も私が乘りこなして御覽に入れます、何處かへ御引出しの程を願ひますと憚る氣色もなく申述べました大和守も思はず打笑はれ　大『アハ、大和守も思はず打笑はれ　大『アハ、夫れは引出されるならば乘こなすに骨の折れる譯はないのだ、平内其方は馬術は素人と見えるのう、アハ、、』と再び高笑ひ平内も不圖心付いて　平『イヤ是れは私が勘違ひをいたしました、然らば是より參つて引出して御覽に入れませう』とズイと立上つた此時松平侯は何うも平内も怪しい者であると思召されたが餘りの大言に癪に障つたから直ぐに近臣に命せられ平内を厩に案内させた其處へ御自身もお出ましになつて御見物、此事を聞き及んだる船山幸右衛門は大いに驚き、且つ怒り　幸『ナニ此の船山さへ扱ひ兼て居る馬を如何に劍術が名人とは申せ馬術ばかりは素人に乘こなせるものか、夫れにては桑平内とは云はせぬぞ』と大に怒つて居りました、抑も此の獅子王は實に不屈き至極の者だ、首尾好く乘り果せば好し、左もなき時においては桑平内とは云はせぬぞ』と大に怒つて居りました、抑も此の獅子王は奥州南部の産であり獅子王といふ名馬に乘つて殿様始め家中の面々を驚かせ様とは思ふが、目の邊り錦木の荒れ廻るを見ては素通りは出來ない、バラ／＼ッと駈けて來て、今驀然に飛んで來る前へ大手を擴げて立ちはだかつた、馬はこれを見ると驚いた『オヤ貞野郎、癪な眞似をしやアがる』と思つたか、錦木が一聲叫んで平内を飛越えんの有様前足を上げて飛掛ると、手早く轡に手を掛けてグイと押へた、大力無双の平内が渾身の力を籠めて押へたのですから是りやア動けない　平『ドー／＼』と二つばかり廻つた　馬『此奴は呼吸を知つてるよ』と思ふと馬は横着な物で暴れませぬ、靜かに馬面を二つ三つ撫でゝ置いて　平『サアお馬役、御渡し申ました、其の鹿毛の美事なること世間に類なく、頸抜けて大きな身體、骨組の立派なるところ、何から何まで揃つて天晴れ名馬でございますが今まで何處へ買上げられて往つても戻されて來て既に七軒も大名を廻つの來たといふ是れが人間なら大變者だが馬だからマア仕合せで、此の返されて來るといふのは餘りに癖が強すぎて什麼しても乘れませぬ、其處で松平侯はこれをお聞きに相成り右衛門は傍で　幸『何んの錦木こそ幸ひに押へられたが高が素人だ、獅子王に乘れて堪るものか、屹度馬を怒らすに相違ない、其時こそは殿の御身邊危し』と一々夫々に用意の手配を致させ、眞逆の時には獅子王を射殺す意りで、弓を多くの下役に持たせて警戒をいたして居る、豪傑桑平内は四邊を眺めて嘲笑ひ　平『ハ、、ても偖も大仰な構へである』とお助け遊ばして、在留同胞を眞に我が子供の如く愛で慈みなさつたのでありますから、自然其の御心が一般に及んで、誰云ふとなく松村の奥様を、『御母様』と尊稱する様になつたのであります。

◆其れに又奥様は非常に多藝多趣味なお方であります、婦人として料理や、和歌や、生花の御趣味は別段珍しいことせざるも、木材でも、植物でも、鳥蟲でも、美術でも、漢詩でも、ちやんと心得ていらつして、相手方の具合で夫れから夫れと多方面にお話が移り變はつて行きなさる處は唯だ／＼御趣味の廣いのと、御研究の行き屆けるとに感服の外はありませんが、其のお優しい同情の中にも、凜として一種冒し難い威嚴の存する處、流石は女子最高學府の高等師範でお鍛へなさた丈にと、首肯かれます。

◆私はいつぞや、奥様はお子供さんが無くて、御樂みが薄う御座いませうと申しました時に『マア什方がありません、其れでも到る處で育て上げた子供が大分居ますから、幾分慰が得られます』と、お云ひになつたことがありましたが、實際奥様は其の通りのお心持で良人たる總領事を始めとして、在留同胞を眞に我が子供の如く愛で慈みなさつたのでありますから、自然其の御心が一般に及んで、誰云ふとなく松村の奥様を、『御母様』と尊稱する様になつたのであります。

◆何人でも松村總領事のお宅へ上つた者は、必ず御親切な、御話上手な奥様に感心して歸へらぬ者はないと思ひます、人には兎角缺點の有勝なものでありますが、松村總領事の奥様には其れがないのみならず、全身に親切と云ふ溫い血液が流れて、自然に人を引きつけなさる處は、何共形容しがたい懷かしみがあるのであります。

◆奥様の此の長所は無論天品でありますが、其の御親切は、奥様さへ此の地に御在住下さりさへすれば、どの位の氣丈夫か、肩身が廣いか言語には盡せませんのでありますが、處が悲しいことには、奥様はもう此處二三日で、當地出發日本へ御歸りになるので、何だか御母様に振り放された様な氣持で惜別の情に堪へません。

◆併し又熟ら／＼考へますると、如何に處が變り、身が離れても、一度結ばつた心と心は永久に合致して、其の波動が恒に無線電信の如く相感應して止まぬものでありませうから私共の思ひ續ける遺る瀨ない心は奥様に通ふじ、奥様も亦子供等の私共を是まで通り御愛し下さるに相違ないと信じます、ですから私共は悲しみの中に尙ほ大なる希望を抱いて奥様の御歸朝を送ります、願くば海上恙なく御着京あらんことを。

婦人欄

御別れに際して

きよ子

美利具比殖民地

◉當社は水質良好、氣候溫和なる珈琲其の他の全作物に適する肥沃地にしてビリグヒ、アラサツーバの二商業地をさし控へたる絶好殖民地を廉價且つ拂込方法を最も容易にして日本人諸君に提供す

◉當社は千三百家族の各國土地購入者を有し其の中三百家族の現住日本人あり創設以來日尙淺きにも不拘道路四通八達し且つ兒童教育機關の設備等あり益々同胞の永住的基礎を鞏固にす

◉當社は當地入殖者に限りバウルウ、ビリグヒ間の無賃乘車券を交付す

御用の向きは左記宛御照會ありたし

代理人　宮崎八郎

The San Paulo Land, Lumber & Colonization Co.
(Comp. de Terras, Madeiras e Colonização de S. Paulo)
Est. Birigüy. Lauula Baurú-Itapura (antiga Noroeste)

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.

AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

日本郵船會社定期船

◉かまくら丸

七月十四日サントス港着
リオを經てブエノスへ向ふ

御用の方は左記の中何れかへ御照會ありたし

伯剌西爾移民組合支部
(Caixa Postal 1082)
Rua Vergueiro 15, S. Paulo.

アンツーネス、ドス、サントス會社
(Caixa Postal 237)
Rua Libero Badaro 93, S. Paulo.